

ふれあい歴史体験

平成29年度のふれあい歴史体験スケジュールは、表のとおりです。

子どもから大人まで、みんなが楽しめる内容になっています。(小学3年生以下は、保護者の付き添いが必要です。) いろいろな時代のくらしやその当時使われていた道具、年中行事に関連したことについて体験しましょう。

参加者には、4月からの新しいスタンプカードを配布します。年間6回以上参加した人には、プレゼントを用意しています。

●会場と問い合わせ先

歴史資料展示室(市役所新館3階)
☎(580)1918

こいのぼりを作ろう 4月のふれあい歴史体験

5月5日は「端午の節句」という、子どもの健やかな成長を願う日です。昔から続く端午の節句について学びながら、こいのぼりやかぶと飾りなどを作りましょう。できた作品は、台紙に貼るとかわいいカードにもなります。

●日時 4月22日(土)・23日(日)

◇午前9時半～正午

◇午後1時～4時

※時間内出入り自由

※小学校3年生以下の子どもは、必ず保護者同伴



●会場と問い合わせ先

歴史資料展示室(市役所新館3階)
☎(580)1918

ふれあい歴史体験スケジュール

期 日	内 容
4月22日(土)・23日(日)	こいのぼりを作ろう
5月27日(土)・28日(日)	紙粘土で埴輪を作ろう(有料)
6月24日(土)・25日(日)	七夕飾りを作ろう
7月22日(土)・23日(日)	折り染めでうちわを作ろう(有料)
8月26日(土)・27日(日)	勾玉を作ろう(要申込・有料)
9月23日(祝・土)・24日(日)	びゅんびゅんごまを作ろう
10月28日(土)・29日(日)	どんぐり染めをしよう
11月25日(土)・26日(日)	凧を作ろう
12月9日(土)・10日(日)	しめ飾りを作ろう(要申込・有料)
平成30年1月27日(土)・28日(日)	鬼の面を作ろう
2月24日(土)・25日(日)	ひな人形を作ろう
3月24日(土)・25日(日)	土笛を作ろう(要申込・有料)

※体験時間 ◇午前の部 午前9時半～正午 ◇午後の部 午後1時～4時(9・12・3月を除く)
※9月のみ大文字まつり会場で開催



あけてみよう！歴史のとびら 拾い歩き！大野城市の地名①

―大野の地名のおこり―

「大野」の地名は、『倭名抄』という平安時代中期に成立した書物に出ています。西海道(現在の九州)にあった筑前国御笠郡の郷の一つとして、御笠郷、長岡郷、次田郷とともに大野郷の名があります。

また、江戸時代に書かれた『筑前国続風土記』には、「御笠の森あたりより東南の方四王寺山の西の麓、また南の方国分の西までをすべて大野というよしなり。大野は郷の名なり。倭名抄に見えたり。」と記されています。

また、奈良時代に作られた『万葉集』にも「大野」の地名が出てきます。まず、大伴宿弥百代が坂上郎女に贈った「念はぬを 思うといはば 大野なる 三笠の杜の 神し知らさむ」(想ってもいないものを想っているといったならば、大野にある御笠の森の神様の罰があたるでしょう)という歌があります。

また、坂上郎女が筑紫で没した後、筑前守山上憶良がその死を悼んで贈ったと考えられている歌に「大野山 霧立ち渡る わが嘆く おきその風に 霧立ち渡る」(大野山に霧が立ち渡っている。亡き人を想って

吐く深いため息で霧が立ちわたっている)があります。この大野山は、今の四王寺山のことです。

この大野の地名について、地名の研究によれば「野は山の裾野の緩い傾斜地を意味しており、水が豊かに流れて日がよく照らし、快適に居住できる場所」とされています。大野市の東部には四王寺山・乙金山から下る山麓、南側は牛頸山から下る山麓があり、中央の低地部に向かって広がっています。こうした地形が大野と呼ばれた理由だと考えられます。ここには、古代から多くの遺跡が広がり、現在もたくさんの方が暮らしています。



●問い合わせ先

歴史資料展示室(市役所新館3階)
☎(580)1918

